

請願 結論を得るまでの継続審査としました

※継続審査とは…

会議に付された事件について、当該会期中に議了できず、特に会議で議決した場合に限り、案件の付託を受けた委員会が閉会中も引き続き審査を行うことをいいます。

学校給食への公的補助を強め、 完全無償化を求める請願（要約）

家庭の負担を減らすために給食費の無償化はとても重要な政策であり、尾道市においても、今こそ学校給食の無償化を決断する時である。食の安全や環境問題への関心が高まるなか、有機農産物を給食に取り入れる地域が増えている。学校給食に地場産食材を多用し、有機農産物を取り入れることは子どもたちのため、また地域農業の振興や環境保全にもつながる。よって以下請願する。

- 1 学校給食への公的補助を強め、尾道市として完全無償化としてください。
- 2 学校給食に地元食材はもとより、有機農産物を使用し、子どもたちの健やかな成長を保障してください。

意見書

※意見書とは、市の公益に関することについて、議会としての意思を意見としてまとめた文書で、国会や関係行政庁に提出します。

12月定例会では下記の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

核兵器禁止条約第3回締約国会議への オブザーバー参加を日本政府に求める意見書（要約）

核兵器の開発や保有、使用などを禁止する核兵器禁止条約の締約国は、発効から3年が経過し、73か国に達しました。

日本はこの条約に対し批准をしていますが、「核廃絶の出口に当たる重要な条約である」と高く評価しています。

唯一の戦争被爆国であり、核保有国と非保有国との橋渡しを目指す日本が、多くの非保有国で構成される締約国会議にオブザーバー参加することにより、非保有国と意思疎通を図り、そのメッセージを核保有国に伝える重要な役割を果たすことができます。

よって、政府及び国会におかれましては、核兵器をめぐる情勢が混迷の様相を呈する今こそ、核廃絶の議論を前に進めるため、3月に予定されている次回の締約国会議にオブザーバー参加されるよう強く要望します。



委員会 視察報告

総務経済委員会

委員長 巻幡 伸一

令和6年11月11日～12日 視察先：大分県大分市・福岡県福岡市

大分市では、新たなモビリティ事業について説明を受けました。地域公共交通の利用率を高めるためには、市民の移動の確保をしていく観点から、地域の実情やニーズを把握するためにも市民の議論を重ねていくことの必要性を感じました。



大分市



福岡市

福岡市では、空き家対策事業の取り組みについて説明を受けました。危険家屋、不良家屋などの問題や斜面地といった地理的要因による空き家対策の重要性を改めて感じました。

福祉環境委員会

委員長 前田 孝人

令和6年11月12日～13日 視察先：静岡県島田市・富士市

島田市へは、新病院建設について視察しました。島田市の旧病院は、施設の老朽化など課題が出ており、尾道市民病院と同様の状況であったと思われました。新病院建設に伴い、数年間は企業債の償還等の費用増大があり厳しいものがあつたが、開院後収益が改善しており引き続き経営努力に努めるとのことでした。

富士市新環境クリーンセンターは、富士市の循環型社会、また低炭素社会の形成に向けての中心的な役割と機能を有する施設とのことでした。今後尾道市でも循環型センターについて取り上げられるようになると思われるので、大変参考になりました。



島田市立総合医療センター
へリポート



富士市新環境クリーンセンター
スクリーン資料による研修

教育スポーツ委員会

委員長 高本 訓司

令和6年11月13日～14日 視察先：京都府京都市立洛友中学校・滋賀県彦根市

京都市では、京都市立洛友中学校へ伺い、「学びの多様化」について視察しました。不登校児童生徒の支援体制が組織的に構築されていました。校内での子どもたちのいきいきとした姿、先生方の情熱にあふれた言動が印象的でした。



京都市立洛友中学校



彦根市議会

彦根市では、「不登校対策・フリースクール等民間施設利用児童生徒支援補助事業」について伺いました。「学校支援・人権・いじめ対策課」を設置し諸問題に取り組まれており、その影響もあつてか、近年の出生数の減少程度が全国平均程度にとどまっているとのことでした。

両市とも、大変参考になりました。